

## 『万事感謝！一生感謝！』 コリント人への手紙第二 4章8～18節 2016.7.3(聖日礼拝説教より)

『すべてのことはあなたのためであり、それは恵みがますます多くの人々に及んで感謝が満ち溢れ、神の栄光が現れるようになるため…』Ⅱコリント 4:15

聖書は、主を信じる者に、『万事が益とされ／あらゆる境遇において満ち足りる』人生を約束する！上記の御言葉を掲げて半年！三つの祝福を再確認したい。

◆第一は「すべてのことはあなたのため」。神は、成功も失敗も、順境も逆境も万事益とするというが、人間は弱い！パウロは伝道生涯の中で、四方八方から押し潰されるような苦しみを受け、打つ手なしで途方に暮れ、逃げたい問題・避けたい悩みにどこまでも追いかけて、踏みつけにされる目に遭い、「本当に死を覚悟した(1:9)」。しかし彼は知る！その地獄の責め苦しみに遭いつつも、その都度脱出の道が備えられ、なんとかなり、そこにイエス様が共にいてくださり、支えられ、守られ、ひとりぼっちではなかったことを！その試練の意味は、「もはや自分自身を頼まず、死者をよみがえらせてくださる神により頼む者となるため(1:8)」だと悟った。

◆第二は「恵みがますます多くの人に及ぶ」。恵みを数えるとは、いいことだけ数え、悪いことは無視するのではなく、全部を数える生き方。野球の3割バッターは失敗の7割を通して選球眼が研ぎ澄まされるのではないかとクリスチャン弁護士佐々木満男氏は、人々の問題と向き合うストレスの日々の中、タイマーを使い10分ごとに「とにかく感謝」を習慣化した時、心も体調も改善！問題を感じたらすぐ主に委ね、嫌な問題であればあるほど神様の恵みだと思えるようになったという。「痛くて触りたくもないが栗も、上手に「いが」を取り除けば、美味しい栗の実が隠れている」と証！

◆第三は「感謝が満ち溢れ」。15歳でリュウマチを発症し50年間痛み苦しむ人生を歩まされた故博子牧師夫人の愛唱聖句は詩篇 103:1～5「…そのすべての恵みを心にとめよ…主はあなたの生きながらえる限り、良き物をもってあなたを飽きたらせる」。神を恨むどころか感謝に満ちた笑顔が思い出される。三重苦を負わされたヘレン・ケラーも言う『私は、自分に与えられた逆境を、神様に感謝しています。何故なら私は、逆境の故に私自身、そして私の使命、そして私の主を見つけることができた！』と。◆主を知る者は、どんな問題も「どんなもんだい！」と乗り越えさせていただき、感謝できる！★今週、あらゆる問題の中に主が共におられることを思い出し、神の救いの栄光を仰がせていただきたい！